

1 1. 教育

	タイトル	意見等
1	「多様性と人権教育」について（課題と要望）	貴重なお時間をありがとうございます。 結論から申し上げますと、「自由と多様性」を推し進めるなら「自分本位と迷惑」に十分注意してほしい。自由で多様な社会でも“共通の土台”として大事な3つのことを述べ、そして要望をお伝えしたいと思います。 まず『1. ルールを守ること！』です。 民主主義のルールは私たちを縛るためでなく、「私たちの権利を守る」ために存在します。 近年はブラック校則が話題に上がります。納得いかないから守らないのではなく、“他者を納得させた上でルールを改める”のが民主主義のあるべき姿だ。 次に『2. 他者を思いやること！』です。 「人に迷惑をかけない」は当然ですが、“何に幸福を感じ、何に迷惑を感じるか”は人それぞれです（幸福・迷惑の多様性）。 「喫煙の自由」の行使者は、非喫煙者への配慮（受動喫煙防止など）が必要です。「おしゃれの自由」の行使者は、他者を不安・不快にさせない配慮（タトゥーや茶髪禁止は人権侵害か？など）を切望する。 自分基準で迷惑行為を考えていませんか？「自由の行使者」には“他者の権利（幸福）を考える責任”があると思います。 そして『3. 自由に責任を持たせること！』です。 戦後の憲法は、全体主義への反省から“個人主義”に立脚しています。しかし個人主義と利己主義は似ています。個人主義は「自由・権利・責任」のトリオがそろい、利己主義はこの中で“責任”が欠けている。 自由がない全体主義も、エゴが多い利己主義も、どちらも暮らしにくい社会だ。個人主義では「個人を尊重する自由・多様な社会」と「他者の権利・幸福を考える責任（思いやり）」は“車の両輪”だと思います。 “社会（全体）から個人へ”価値基準がシフトすると、個人の権利がぶつかりあいます。私も「自由と多様性」は大事だと考えていましたが、それが昨今では“迷惑を考えない口実”になっていると疑っている。 社会へ出る前の中学・高校生は、「自由と多様性」「自分本位と迷惑」について“じっくり”と時間をかけて話し合ってもらいたい。おのおのが自分の幸福だけを追求せず、みんなが幸福な社会を“みんな”が考えてほしい。
2	食育推進について	学校給食はすべて廃止して、子どもたちに保護者が手づくりの弁当を作り学校に持参させるべきである。 都会の公立中学校では学校給食を実施しておりません。食育は親の責任です。
3	高校普通科学区制の改定について	現在議論されている3学区制については、何らかの改定が必要だと思います。 全県1学区制があるいは、第3学区（徳島市）にも含まれる松茂町・北島町・藍住町・神山町・佐那河内村に加え、鳴門市・板野町・上板町・石井町・小松島市を含め重複エリアを拡大することが現実的でしょう。 従来の旧総合選抜校には育成型選抜で徳島県外からの生徒も合格しており、一般選抜で受験する学区外の生徒との不公平感があることは否めないと思います。 ここで考慮しないといけないのは、総合選抜制度が導入された経緯だと考えます。 所謂、受験戦争の緩和を目的として、学力の均衡化を図る為に導入されたのが総選でした。 確かに学力は平均化し学校内で一体感のある雰囲気が教職員や生徒の間で広がったのは確かでしょう。 第一希望の高校に行けず、成績が良くても割り振られ第4/5希望の高校に指定される生徒もいました。 それでも生徒は生き活きと青春を謳歌し、どのような環境であれ仲間と仲良く学校生活を送る術を学んだと思います。 そして、大学進学や就職でも思うにならないのが世の中だと自覚できたのではないのでしょうか。 もちろん国公立大学や有名私大への進学成績は低迷し、あえなく総選制度は廃止されましたが、それは学力向上を目指す時代の流れだったと思います。 奇しくも国際的には冷戦時代が終わり、旧ソ連はベレストロイカ?崩壊に至った時代でした。 ただ、徳島の平等主義や3学区制の完全否定は、現状維持派の反発もあるでしょうし、その中で利点も見い出していく努力が必要でしょう。 これはロシアの現状を見ても明らかで、反対者を追い詰めてはいけません。 学校間で差のない友愛関係の旧総選制及び3学区制からの緩やかな脱皮が求められていると思います。
4	徳島県における国際化について	後藤田正純徳島県知事様が徳島県に世界の名門大学を誘致開学して、徳島県における国際化の進展をしてください。 最新の2024年の世界の名門大学は、オックスフォード大学・スタンフォード大学・ハーバード大学・ケンブリッジ大学・プリンストン大学・イエール大学・カリフォルニア工科大学・マサチューセッツ工科大学・シカゴ大学・コロンビア大学など

11. 教育

	タイトル	意見等
5	徳島県における高等教育機関の充実について	後藤田正純徳島県知事様が「徳島大学における総合大学化」の推進をしてください。 具体的には、徳島大学総合科学部を改組して、徳島大学に法学部・経済学部・文学部を開設する。 具体的には、徳島大学保健学科を改組して、新たに看護医療学部を開設する。 具体的には、徳島大学に獣医学部を開設する。⇒北海道大学獣医学部の例 後藤田正純徳島県知事様が鳴門教育大学を大学院の前期課程の修士課程を含めた六年間一貫教育の鳴門教育専門職大学院大学にしてください。
6	徳島新未来創生について	後藤田正純徳島県知事様が教育改革による新たな人づくりで地方再生並びに地方創生を図り、徳島新未来創生を構築してください。 具体的には、徳島県に世界の名門大学(ケンブリッジ大学・スタンフォード大学・オックスフォード大学・ハーバード大学・カリフォルニア工科大学・マサチューセッツ工科大学など)を誘致開学を行うこと。